



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月6日

上場会社名 株式会社 フュートレック 上場取引所 東
コード番号 2468 URL <https://www.fuetrek.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明弘
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 秦 真一郎 TEL 06-4806-3112
四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	509	△5.1	△178	—	△195	—	△194	—
2023年3月期第2四半期	536	△27.9	△224	—	△219	—	△278	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △198百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △296百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△20.75	—
2023年3月期第2四半期	△29.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,360	1,762	67.4
2023年3月期	3,318	1,989	54.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,589百万円 2023年3月期 1,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	△9.8	△40	—	△75	—	△80	—	△8.55

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	9,504,200株	2023年3月期	9,504,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	146,460株	2023年3月期	146,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	9,357,740株	2023年3月期2Q	9,357,740株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行されたことにより、社会経済活動は正常に戻りつつあります。しかし、ロシア・ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、音声認識事業とデジタルマーケティング事業を中核事業とし、各事業の更なる強化に努めました。

音声認識事業におきましては、他社との差別化を図るための音声認識技術の機能向上と声認証関連技術・異音検知技術の開発を行いつつ、拡販活動を継続してまいりました。

その結果、異音検知技術（音のAI検査）におきましては、さまざまなパートナー企業との実証実験により得た成果を元に、「音のAI検査SDK for Windows」の提供を開始しました。その後、本SDKを活用したシステム開発や評価等の取り組みが複数の企業で始まっています。

デジタルマーケティング事業におきましては、新商品であるVisionary Cloudの営業活動を積極的に進めつつ、引き続き追加機能開発を行っております。合わせて、現在Visionaryをご利用いただいているお客様に向けてのサービスサポート、及び各社向けのカスタマイズ対応を行うことで、既存顧客のサービス利用継続を図るとともに、売上の獲得に努めております。

また、8月3日に公表いたしましたとおり、当社の筆頭株主となった株式会社エーアイと資本業務提携委員会を発足させました。両社が持つ研究開発技術や製品・サービスのノウハウ、営業ノウハウ等について資本業務提携に基づいた協働関係を構築し、互いの強みを活かしたシナジー効果を発揮すべく、取り組みを進めています。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績としましては、売上高は509百万円（前年同四半期比5.1%減）、営業損失は178百万円（前年同四半期は営業損失224百万円）、経常損失は195百万円（前年同四半期は経常損失219百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は194百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失278百万円）となりました。

前年同四半期と比較し、売上高は27百万円、営業損失は46百万円減少いたしました。

売上高の主な変動要因としましては、デジタルマーケティング事業の売上高が53百万円とシステム開発事業の売上高が13百万円それぞれ増加し、音声認識事業の売上高が80百万円と映像制作事業の売上高が13百万円それぞれ減少したことによるものであります。

営業損失の主な変動要因は、デジタルマーケティング事業の営業損失が55百万円減少したことによるものであります。音声認識事業におきましては、売上高は80百万円減少しましたが、外注費の減少と販売管理費の節減等により営業損失は2百万円の増加にとどまりました。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	第23期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	第24期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
音声認識事業	204	124	△80
デジタルマーケティング事業	217	270	53
映像制作事業	74	61	△13
システム開発事業	31	45	13
報告セグメント計	528	502	△26
その他	7	6	△0
連結財務諸表計上額	536	509	△27

なお、当社グループは、第1四半期連結累計期間の期首より、「その他事業」として集約していた複数の事業のうち、連結子会社である株式会社スーパーワンが営む業務について、量的重要性が増したため「システム開発事業」として独立した報告セグメントとして記載する方法に変更しております。この変更により、当社グループの報告セグメントは「音声認識事業」「デジタルマーケティング事業」「映像制作事業」及び「システム開発事業」の4区分となり、報告セグメントに含まれない事業を「その他」として表示しております。このため、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を変更後のセグメントに組替えて記載し、セグメント毎の前年同期比等につきましても変更後の報告セグメント区分・名称により記載しております。

①音声認識事業

売上高は124百万円（前年同四半期比39.2%減）、営業損失は90百万円（前年同四半期は営業損失88百万円）となりました。

前第2四半期連結累計期間と比較して売上高が減少しているのは、主に音声収録に関する受託業務に係る売上高が減少したことによるものです。当該受託業務の減少に伴って外注費が減少したことに加え、販売管理費の節減等により、営業損失は微増にとどまりました。

②デジタルマーケティング事業

売上高は270百万円（前年同四半期比24.5%増）、営業損失は78百万円（前年同四半期は営業損失133百万円）となりました。

前第2四半期連結累計期間と比較し、主に新規案件の受注に伴う受託業務（初期導入費用）に係る売上高が増加したことによるものであります。

③映像制作事業

売上高は61百万円（前年同四半期比17.7%減）、営業損失は14百万円（前年同四半期は営業損失12百万円）となりました。

④システム開発事業

売上高は45百万円（前年同四半期比44.0%増）、営業損失は0百万円（前年同四半期は営業利益3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産（負債純資産合計）は、前連結会計年度末に比べ958百万円減少し2,360百万円となりました。当第2四半期連結会計期間において、借入金の返済などにより有利子負債残高が571百万円減少しており、総資産（負債純資産合計）が大きく減少いたしました。

総資産の内訳は、流動資産が2,236百万円（前連結会計年度末比963百万円減）、固定資産が123百万円（同5百万円増）であります。流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少826百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少126百万円、流動資産のその他の減少11百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、投資有価証券の増加3百万円、繰延税金資産の増加2百万円によるものであります。

負債の部では、流動負債が585百万円（同663百万円減）、固定負債が12百万円（同68百万円減）であります。流動負債の主な変動要因は、買掛金の減少150百万円、短期借入金の減少500百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少3百万円、賞与引当金の増加25百万円、前受金の増加22百万円、流動負債のその他の減少56百万円であり、固定負債の主な変動要因は、長期借入金の減少67百万円によるものであります。

純資産の部では、利益剰余金の減少222百万円等により1,762百万円（同226百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年8月3日に公表いたしました連結業績予想を修正しておりません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,695,016	1,868,446
受取手形、売掛金及び契約資産	357,810	231,034
有価証券	100,000	100,000
仕掛品	—	185
その他	49,251	38,208
貸倒引当金	△2,056	△1,336
流動資産合計	3,200,022	2,236,537
固定資産		
有形固定資産	936	1,447
無形固定資産		
ソフトウェア	18,529	11,357
ソフトウェア仮勘定	—	6,454
無形固定資産合計	18,529	17,812
投資その他の資産		
投資有価証券	66,641	70,001
繰延税金資産	—	2,177
その他	32,703	32,553
投資その他の資産合計	99,345	104,731
固定資産合計	118,811	123,990
資産合計	3,318,833	2,360,528
負債の部		
流動負債		
買掛金	197,141	46,801
短期借入金	900,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	5,900	2,400
前受金	16,954	39,392
未払法人税等	4,985	4,066
賞与引当金	4,881	30,495
受注損失引当金	1,048	742
その他	117,944	61,318
流動負債合計	1,248,856	585,218
固定負債		
長期借入金	79,900	12,400
繰延税金負債	777	—
固定負債合計	80,677	12,400
負債合計	1,329,534	597,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,554,194	1,554,194
利益剰余金	244,852	22,594
自己株式	△70,014	△70,014
株主資本合計	1,829,031	1,606,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△21,285	△16,876
その他の包括利益累計額合計	△21,285	△16,876
非支配株主持分	181,553	173,013
純資産合計	1,989,299	1,762,910
負債純資産合計	3,318,833	2,360,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	536,393	509,236
売上原価	449,466	385,603
売上総利益	86,926	123,633
販売費及び一般管理費	311,673	302,094
営業損失(△)	△224,746	△178,460
営業外収益		
受取利息	34	29
受取配当金	780	683
投資事業組合運用益	7,391	532
為替差益	—	12,519
助成金収入	1,000	—
その他	202	262
営業外収益合計	9,408	14,027
営業外費用		
支払利息	2,929	2,353
支払手数料	—	29,010
為替差損	879	—
営業外費用合計	3,808	31,364
経常損失(△)	△219,146	△195,797
特別損失		
投資有価証券評価損	30,872	—
減損損失	36,689	6,093
特別損失合計	67,562	6,093
税金等調整前四半期純損失(△)	△286,709	△201,890
法人税、住民税及び事業税	2,226	3,789
法人税等調整額	342	△2,954
法人税等合計	2,568	834
四半期純損失(△)	△289,278	△202,725
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,295	△8,539
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△278,982	△194,185

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△289,278	△202,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,267	4,408
その他の包括利益合計	△7,267	4,408
四半期包括利益	△296,545	△198,316
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△286,249	△189,776
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,295	△8,539

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。